

## 米軍機の安全管理の徹底等について(要請)

「平成 18 年 10 月 12 日、第 5 空母航空団の第 14 対潜ヘリコプター飛行隊所属の H-60 ヘリコプターから飛行中に懐中電灯を落とした」との連絡を受けました。

これまでに人的被害や物的被害は確認されておりませんが、人命にかかわる重大な事故につながる可能性があります。本年 5 月 22 日に第 5 空母航空団所属の C 2 輸送機から部品落下事故が発生し、その際にも再発防止等について要請してきたにもかかわらず、今回、このような事故が発生したことは誠に遺憾であります。

当協議会は、本年 5 月の要請をはじめ、これまでも機会あるごとに、飛行の安全対策等の確立等を要請してきたところでありますが、県内では、航空機からの部品落下事故やヘリコプターの不時着事故等が繰り返し発生しており、県民に大きな不安を与えております。

貴職におかれては、今後、米軍機の事故が起きることのないよう、次のことについて、万全の対策を講じることを(米軍に申し入れるよう)改めて強く要請します。

( ) 内は、日本側への要請に挿入します。

- 1 落下物の捜索に最大限努力すること。
- 2 航空機からの落下物防止のための安全管理の充実や教育訓練等を徹底するとともに、本件発生の原因を究明し、再発防止に万全を期すこと。
- 3 航空機に関する事故については、被害確認や二次災害防止の観点から、発生の可能性が判明した段階から、できるだけ早く公表すること。

平成 18 年 10 月 13 日

在日米海軍司令官	ジェームズ・D・ケリー少将	}	殿
厚木航空施設司令官	ジャスティン・D・クーパー大佐		
外務大臣	麻生 太 郎		
防衛施設庁長官	北 原 巖 男		

### 神奈川県基地関係縣市連絡協議会

会 長	神奈川県知事	松沢	成文
副会長	横浜市長	中田	宏
副会長	横須賀市長	蒲谷	亮一
副会長	相模原市長	小川	勇夫
	藤沢市長	山本	捷雄
	逗子市長	長島	一由
	大和市長	土屋	侯保
	海老名市長	内野	優
	座間市長	星野	勝司
	綾瀬市長	笠間城治郎	